

2016年12月吉日

加藤元先生が北海道大学獣医学部、獣医学部大学院の客員教授に。

北海道大学総長から感謝状を贈呈。

報告者:ダクタリ動物病院 東京医療センター

院長 野内正太

GM 松沼謙一

公益社団法人 JAHA 初代、2代、10代、11代会長である加藤元先生が、さる平成28年11月29日、国立学校法人北海道大学において、大学院および、獣医学部の客員教授への要請を受け、これを受任いたしました。

国立大学では発令式というものがあり、発令式の前日には札幌入りして、翌日の北海道大学総長から感謝状をいただくとともに、今回のコロラド州立大学獣医科大学 /College of Veterinary Medicine and Biomedical Sciences, Colorado State University (以下 CVMBS)と北海道大学獣医学部との実質的な交流と提携に対して、全教授、准教授出席のもと、発令式に臨みました。

加藤元先生は、Dr. Jim Voss が1986～2001年の15年に渡り学長を務めた時代の1986年、CVMBSに客員教授として迎えられ、2年後からは Affiliate Faculty Member

として 30 年以上、今日に至るまで、専門のない Human Animal Nature Bond を大切に
するジェネラルな日本人臨床家として、アメリカの獣医学教育ならびに訓練に携わって
います。そして、CVMBS の日本へのアンバサダーとして活躍しています。

このたび CVMBS と北海道大学とを結びつけるべく、CSU3 往復、北大 6 往復という
精力的な活動を行った後、この交流システムと提携が実現しました。

残念ながら日本には存在していないのが、オーガナイズド・ベテリナリー・メディスン、
もう一つクリニカル・サイエンスなども欠けています。内科、外科、臨床繁殖という明治
以来の、獣医科のある大学のクリニカル・サイエンスです。世界中の先進国の大学で
確立されている臨床各科にわたる専門医のフェアな育成システムが残念ながら日
本にはありません。

このたびの交流システムと提携で、日本の北海道大学獣医学部（アメリカでは獣医
科大学）に入学してくる、次世代を担う優秀な新入生たちとジュニア・ファカルティや臨
床に携わる大学院生の視野を広げ、その分野において断トツであるアメリカの獣医科
大学の各科にわたる専門医のクリニカル・サイエンスのレジデント教育と訓練、さらに
学生選抜から継続教育、各種獣医学会／獣医師会活動にいたるまでのオーガナイズ

ド・ベテリナリー・メディスンの実態にふれることで、日本の実質的な臨床のサイエンスと
オーガナイズド・ベテリナリー・メディスンの合理的な実用に結びつけたいと考えていま
す。

また、自他共に許す、各科に渡る専門医の養成システムの確立のために、北海道
大学、CVMBSの両校内に「Gen Kato Found」が設立されました。これは CVMBSと
の実質的交流と研究、提携のためのみに使用されるもので、この基金の設立、および
CVMBS との実質的交流は、両大学に大きな影響を与え、獣医学の世界に新たな地
平をもたらすものであります。北海道大学山口佳三総長から、これらの貢献を称えて感
謝状が贈られ、同時に北海道大学の獣医科研究部(獣医学大学院)とともに同獣医学
部の客員教授任命と併せてこれらの栄誉が授与されました。